平成25年度第2回 博物館協議会 抄録

(市民憲章唱和)

1 あいさつ

(事務局)

2 協議事項

(1) 平成25年度下半期事業計画について

(資料説明：事務局)

(委員)

広告展についてですが、世間に対する広告というものは入っていないのですか。

(事務局)

今みたいにテレビやラジオで伝えられた内容を当時はポスターやチラシで伝達していたので、ただ単にお店だけではなく、そういったものも含めてやる予定です。

(委員)

お店を再現するということですか？

(事務局)

簡単な形かもしれませんが、パネルに絵を描くなどしてそこにポスターを貼り、お店を再現できるようなグッズを置いてにぎやかな感じにしようと考えています。

(委員)

広告展ですが、現在、特別展「南吉が安城にいた頃」で出ている駅前の模型とか地図は広告展では使わないのですか。あれが、あるとお店の位置とかも分かると思うのですが。

(事務局)

使うつもりです。

(委員)

「下半期の催し」ですが、3月にとても講演会が多くて、それに対して11月の方は少し隙間があるように見えます。

それから、3月の特別展のタイトルが長すぎる。「大交流」というのもイメージが大きすぎる気がします。

(事務局)

「大交流」というのがないとまじめすぎてしまって…

開催要項では、「弥生時代から古墳時代の」ではなくて「古墳出現前夜の」になっていますけど。

(委員)

「弥生時代」と言うと前期も入ってしまうので、「古墳出現前夜」のほうがいいですね。

(事務局)

「外来系土器」というのもわからないでしょうね。

(事務局)

「土器交流」でわかる人は「外来系土器」って分かりますよね。同じことを言っている気がします。

(委員)

3月2日のは、名前としてはただの「シンポジウム」ですか。「考古学シンポジウム」とかつかないのですか？1月のは「松平シンポジウム」となっていますが。

「松平シンポジウム」はまだ日程が決まっていないのですか。

(事務局)

まだです。

(委員)

今のシンポジウムの話ですが、「松平シンポジウム」みたいに「なにになにシンポジウム」ってつけたらどうですか。

(委員)

ここは「考古学」って言い切ったほうが良いと思う。

(委員)

鹿乗の展覧会はタイトルをもうひとひねりしてください。

(事務局)

委員のアドバイスをとり入れながら内部で再検討したいと思います。

(事務局)

シンポジウムの方も、何のシンポジウムかわかるように前に「松平」とか「考古学」とかつけたいと思います。

(委員)

タイトルと言えば、「起こりもうす」というのも懲りすぎている気がします。

(事務局)

これは三河物語の冒頭の部分です。

(委員)

「三州に」をとって「一揆起こりもうす」の方がインパクトがあると思うのですが。

(事務局)

家康館が過去に「三河一向一揆」というタイトルでやっていますが、それとは区別したいという担当者の思いと、「一揆起こりもうす」だと室町時代の土一揆からすべてと捉えられかねないですが、サブタイトルとの兼ね合いかもしれません。これも内部で再検討してみます。

(委員)

「三州」の「さん」って一、二、三、の三なのか、それとも参加の参なのですか。

(委員)

原本によると思います。

(事務局)

原本は江戸時代のものなのでこのとおりです。

(事務局)

先ほど、神谷委員が3月の催しが多すぎるという指摘がありましたが、3月16日の講座はまだ2月22日に変更可能なのですが、そうすると2月も結構埋まってくると思いますがどうでしょうか。

(委員)

「いがまんじゅう」の講座は種類が違うので、2月の講座が4つになっても良いのではないのでしょうか。

(事務局)

それでは、3月16日の講座を2月22日に変更の方向で調整してみます。

(委員)

寺澤さんの講座は2階の講座室でやりますか。

(事務局)

いま迷っています。

(委員)

あの方は人気があるので、入りきらないかもしれませんよ。

(事務局)

エントランスも検討してみます。

(2) 平成26年度の展示計画について

(資料説明：事務局)

(委員)

ふたつ目の展示ですが、企画会社から買い取るのか、それともよその博物館でやったものが、場所を借りるかたちでくるのですか。

(事務局)

どちらもありだと思います。過去にやった北原照久のおもちゃの展覧会では、ポスターやチラシなどはこちらで作し、それ以外はすべて北原さんにお金をお支払いして、すべてやってもらいました。さらに前には、徳川美術館に同じようにお問い合わせしたことがあります。

映画の東映がもっている人形作家の昭和30年代の様子を再現した作品を並べたこともあります。

デパートなどでの巡回展は、相手が期待する入場者数や展示面積などがネックになります。ギャラリー全館を借りればできなくもないですが、来年夏の展示なので時間に余裕がなく、難しいかもしれません。

(委員)

解説はここの学芸員がやるのですか。

(事務局)

他の館を見ていると、その学芸員がやっているようです。一般のお客さん相手ですし、長時間解説するわけではないので、やれないことはないと思います。

(委員)

先ほどありました映画の人形を借りてくるというのはおもしろそうですね。さらに映画会とリンクしてできれば広がると思います。

(委員)

買い取りにしても、この前のおもちゃのようにわれわれがまったく手出しができない分野なら意義があるかなと思います。自前ではできないものを持ってくるなら良いと思います。

(事務局)

そのあたりは、選んでいく過程で気をつけていきたいと思います。

(委員)

時間的にあまりないですが大丈夫ですか。

(事務局)

相手次第だと思います。

(委員)

場所が足りない場合、エントランスを仕切って使うというのはどうですか。

(事務局)

温湿度や警備の問題がありますが、昨年度の震災展のときには、エントランスにも展示しましたので、展示物によっては可能です。

(委員)

空調についてですが、館全体で動いているのですか。それとも展示室だけで調整されているのですか。

(事務局)

空調に関しては、展示室や収蔵庫は別系統になっていて、資料にとっての適温 23 度に保たれています。エントランスは事務室などと同じ電気系統で、節電などによりあまり温度を下げられません。湿度の面では展示ケースに調湿剤という薬剤を入れており、一定に保つことは可能ですが、どこの部屋も展示室と同じように使えるというわけではありません。

(委員)

油ヶ淵の展示ですか、とてもおもしろそうですね、民話とかは入らないですか。

(事務局)

民俗とか歴史とかで取り上げると思います。

(3) その他

(委員)

今回の展示に図録が間に合わなかったのは残念だと思います。日にちが決まっているものに関しては、きちっとしてほしいと思います。

もうひとつ、昭和15年の駅前の模型ですが、競技場のトラックの位置を印してもらおうと、かつての競技場が今の市役所になったということが説明できると思います。

(事務局)

競技場はいつできたのですか。

(事務局)

競技場ができるのは戦後です。あのころは、安城公園という形でして、時に競技場として利用したり、相撲やサーカスの興行を行う場でしたのでそのような表現にしました。

(委員)

わかりました。

(事務局)

図録の件に関しましては、大変申し訳ございませんでした。次回には間に合うようにしてい

たいと思います。

(次回の開催等事務連絡)

(議事終了)

(事務局)

あいさつ